



学校だより

令和2年9月号

村上市立朝日みどり小学校

村上市中原2726

電話 72-6665 FAX 72-6958

★朝日みどり小学校のホームページ★ <http://www.city.murakami.niigata.jp/asahi/asahimidori/>

気になる子どもたちの言葉遣い！！

校長 見原 恵

冒頭に一言添えさせていただきます。この文章を読み、心にグサツときて、悲しくなる人がいるかもしれないことをお許しください。是非ご一読いただき、学校、保護者、地域が一丸となって子どもたちの言葉遣いを改善していきたいと思っております。ご協力を心よりお願いいたします。

「死ね」「うざい」「ストーカー」「付いてくんな」「だまれ」…これは、私たち教職員、時にはボランティアの方にまで向けて発せられる子どもたちからの言葉です。時間を守らず、いつまでも遊んでいる時に「時間だよ」「戻るよ」と声を掛けた時や、学習と関係ないことをしてふらふらしている時に「今は、～する時間だよ」「戻って～するよ」と声を掛けた時でさえ、こんな言葉が返ってきます。そして、自分の思い通りにならないと、さらに言葉はエスカレートします。

また、子ども同士のトラブルでも、どうしてそんな言葉が子どもの口から飛び出すのだろうと疑問を感じる、耳を疑う言葉が多く見られます。子どもたちがよく見ている「YOUTUBE」の影響もあるかもしれません。新型コロナウイルス対策によるストレスも関係しているのかもしれませんが、でも、それだけでしょうか？身近で接している私たち大人は、どうでしょうか？是非家族みんなで自分の言葉遣い・家族の言葉遣いを振り返っていただけると嬉しいです。

「言葉遣いは心遣い」といい、その言葉を発する人柄を表します。「心遣い」とは、あれこれと気を配ることであり、相手のことを思いやり、相手の立場に立って考えた後の行為や言葉のことを言います。その人が何を話し、どのような言葉遣いをするかによって、私たちはその人の性格や考え方、その人がどんな人かを言葉遣いから読み取るのです。冒頭の「死ね」「うざい」「だまれ」などの言葉からどんな人物が思い浮かびますか。

人と人との関係をつくるコミュニケーションをとるために、「言葉」は必ず必要です。また、お互いを理解するために「言葉」は重要な役割を果たします。

学校では、「さん付け」「ふわふわ言葉」を大切にしています。学校外でも、子どもたちの名前をさん付けで呼んで、1人1人に声を掛けていただくとありがたいです。また、不適切な言葉遣いが聞こえたら、訂正させていただけたら幸いです。

